

【6】小佐々地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい小佐々のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加された皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日 程：平成19年10月6日（土）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは小佐々地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う小佐々地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- 美しい自然が多い
- 食べ物がおいしい
- 人情味がある

【気になるところ】

- 外灯が少なく歩くのが不安
- ごみのポイ捨てや不法投棄が多い
- 自治会活動への参加者が少ない

\\ 皆さんも小佐々地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょ！ //

問1 神崎鼻には「日本本土最西端のシンボル塔」が設置され、『日本本土最西端の地』と記されていますが、この文字はどの場所から見えるように彫られているのでしょうか？

- ①公園側 ②海側 ③真上

問2 大悲観公園の中にある「大悲観」の3文字には、お米が『何俵分入る』といわれているのでしょうか？

- ①3俵 ②4俵 ③5俵

問3 『足毛馬公園』の入り口から展望台まである階段は、何段あるのでしょうか？

- ①193段 ②252段 ③312段



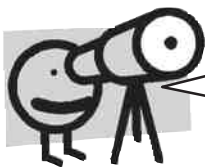
※答えはP8の下にあります。

第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成19年11月3日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム
●気になり具合診断
●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。
さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。
グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。
※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問題】

ひとり暮らしの方が多い



【“みんなにできること”の意見】

- 隣近所で見守る
- ボランティア団体による支援を考える

参加した皆さんの感想から

- ◎地域のことについていろいろと知らなかったことが分かりよかったです。これからやれることを見つけて実行していきたいと思います。
- ◎地域には気になることがたくさんあり、その解決策がたくさん出たのでそれをいかして、私たちにできることをしたいと思いました。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



まずは、小佐々地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。

この“お茶の間トーク”での意見を基に、地域福祉推進会が中心となってまとめた、次のページからの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！

